● 評価書素案

都市再生緊急整備地域名		名古屋臨海地域		
	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	<p>【名古屋市都市計画マスタープラン2030】(令和2年6月策定) ○地域拠点のまちづくりの方針 にぎわいと生活利便性を高める施設の集積をはかり、周辺住民が訪れ、にぎわいのあるまちなみが駅を中心に広がるなど、快適なまちなかライフを過ごすことができる身近な拠点づくりを目指します。 ○重点地域(金城ふ頭) ・圏域のものづくりを支える物流機能と調和をはかりつつ、コンベンション機能やアミューズメント施設を備えた、広域からも人々が訪れるような拠点を形成します。 ・多様な都市機能と高い回遊性を有する、にぎわいと魅力のある名古屋の新名所を創出。 ・コンベンション機能のさらなる強化による世界の技術・情報・人々が交流する拠点の形成。 ○地域拠点(港区役所(港明)) ・公共交通の利便性などを活かした中高層住宅が立地し、高密度な市街地を形成しています。 ・休日に公共交通を使って訪れ、ショッピングや文化・レジャー活動、生涯学習、フリーマーケットなどの自ら参加できるイベントなど、駅周辺に集まる各所のコンテンツを回遊しています。</p>	<p>金城ふ頭地区では、レゴランドジャパンやホテル、民間都市再生事業計画認定を受けた商業施設(メイカーズ・ピア)が整備され、国際展示場やコンベンション施設が事業中である。今後もレゴランド2期開発等が予定されている。 港明地区では、民間都市再生事業計画認定を受けた商業、住宅、複合業務、スポーツ施設、エネルギー施設からなる「みなとアクルス」開発事業が実施されており、第I期として、ららぽーとやマンション等が整備された。今後も第II期として、複合業務施設の整備を実施される予定である。 一州町地区、稲永・鴨浦地区では、未利用地について、事業予定者が決定し、総合的な物流施設の整備に向けた取組が進められている。また、結婚式場跡地についても、今後開発事業者を募集する予定。</p>	<p>人口(地域内) 3,350人(H17)→3,709人(R3) :約10%増(港区全体:約5%減) ・世帯数(地域内) 1,441世帯(H17)→1,878世帯(R3) :約30%増(港区全体:約19%増) ・地価(地域内) 8.4万円/㎡(H14)→8.8万円/㎡(R3) :約5%上昇(港区内:約30%下降) ・乗車人員(各地区の隣接駅) 一州町地区(稲永駅): 55.8万人(H17)→95.9万人(R1) :約72%増 稲永・鴨浦地区(野跡駅): 21.0万人(H17)→35.6万人(R1) :約70%増 金城ふ頭地区(金城ふ頭駅): 38.9万人(H17)→146.7万人(R1) :約277%増</p>	
項目別評価	<p>「名古屋市都市計画マスタープラン2030」において、にぎわいと生活利便性を高める施設の集積をはかり、快適なまちなかライフを過ごすことができる身近な拠点づくりを目指すとなっている。</p>	<p>都市開発事業が進捗している。現在実施されている事業以外にも、新たな都市再開発事業も予定されている。</p>	<p>人口や世帯数、地価、乗車人員において都市再生の効果の発現が認められる。</p>	
総合評価	<p>都市整備事業・公共施設整備事業が進捗し、整備の目標の実現が図られつつある。今後も、予定されている都市開発事業等について引き続き推進する必要がある。</p>		⇒	<p>地域指定を継続</p>